

内 訳 書

名称	細別・規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
(1) 人件費	特殊作業員	人		円	円	
	普通作業員	人		円	円	
(2) 車両費		日		円	円	単価表第1表参照
(3) 分析費	①公共用水域水質測定調査(補足を含む。)	式	1	円	円	単価表第2～6表参照
	②公共用水域水質(要監視項目)測定調査	式	1	円	円	単価表第7～9表参照
(4) 直接業務費		式	1		円	(1)+(2)
(5) 業務管理費		式	1		円	
(6) 業務原価		式	1		円	(4)+(5)
(7) 一般管理費		式	1		円	
(8) 業務費計		式	1		円	(3)+(6)+(7)
(9) 消費税及び地方消費税の額		式	1		円	(8)の10%
設 計 費 計		式	1		円	(8)+(9)

単 価 表 第 1 表

車 両 費 1 日 当 り							
名 称	細別	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
(1) ガソリン		レギュラーガソリン	L		円	円	
(2) ライトバン損料		1.5L	時間		円	円	
(3) ライトバン損料		1.5L	供用日		円	円	
合 計						円	(1)+(2)+(3)

単 価 表 第 2 表

		分 析 費					
名 称	細別	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
① 公共用水域水質測定調査(補足を含む。)							
ア 生活環境項目							
		水素イオン濃度(pH)	検体	252	円	円	
		溶存酸素量(DO)	検体	252	円	円	
		生物化学的酸素要求量(BOD)	検体	252	円	円	
		化学的酸素要求量(COD)	検体	60	円	円	
		浮遊物質(SS)	検体	252	円	円	
		大腸菌数	検体	30	円	円	
		n-ヘキサン抽出物質	検体	24	円	円	
		全窒素	検体	72	円	円	
		全リン	検体	72	円	円	
		全亜鉛	検体	48	円	円	
		ノニルフェノール	検体	14	円	円	
		直鎖アルキルベンゼンスルホン酸(LAS)	検体	10	円	円	
		ア 小計				円	

単 価 表 第 3 表

		分 析 費					
名 称	細別	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
イ 健 康 項 目							
		カドミウム	検体	36	円	円	
		全シアン	検体	36	円	円	
		鉛	検体	36	円	円	
		六価クロム	検体	36	円	円	
		砒素	検体	36	円	円	
		総水銀	検体	36	円	円	
		ポリ塩化ビフェニル(PCB)	検体	4	円	円	
		ジクロロメタン	検体	16	円	円	
		四塩化炭素	検体	16	円	円	
		1,2-ジクロロエタン	検体	16	円	円	
		1,1-ジクロロエチレン	検体	16	円	円	
		シス-1,2-ジクロロエチレン	検体	16	円	円	
		1,1,1-トリクロロエタン	検体	16	円	円	

単 価 表 第 4 表

		分 析 費					
名 称	細別	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
イ 健康項目（続き）		1,1,2-トリクロロエタン	検体	16	円	円	
		トリクロロエチレン	検体	24	円	円	
		テトラクロロエチレン	検体	24	円	円	
		1,3-ジクロロプロペン	検体	16	円	円	
		チウラム	検体	16	円	円	
		シマジン	検体	16	円	円	
		チオベンカルブ	検体	16	円	円	
		ベンゼン	検体	16	円	円	
		セレン	検体	16	円	円	
		硝酸性窒素	検体	36	円	円	
		亜硝酸性窒素	検体	36	円	円	
		ふっ素	検体	36	円	円	
		ほう素	検体	36	円	円	
		1,4-ジオキサン	検体	16	円	円	
		イ 小計				円	

単 価 表 第 5 表

		分 析 費					
名 称	細別	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
ウ 特 殊 項 目							
		フェノール類	検体	20	円	円	
		銅	検体	20	円	円	
		溶解性鉄	検体	20	円	円	
		溶解性マンガン	検体	20	円	円	
		クロム	検体	20	円	円	
		ウ 小 計				円	

単 価 表 第 6 表

		分 析 費					
名 称	細別	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
エ その他の項目							
		アンモニア性窒素	検体	36	円	円	
		リン酸性リン	検体	48	円	円	
		塩化物イオン	検体	48	円	円	
		電気伝導率	検体	48	円	円	
		全有機炭素(TOC)	検体	48	円	円	
		陰イオン界面活性剤(MBAS)	検体	48	円	円	
		エ 小計				円	
		ア、イ、ウ、エの合計				円	

単 価 表 第 7 表

		分 析 費					
名 称	細別	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
② 公共用水域水質(要監視項目)測定調査							
		EPN	検体	4	円	円	
		フタル酸ジエチルヘキシル	検体	4	円	円	
		ニッケル	検体	4	円	円	
		モリブデン	検体	4	円	円	
		アンチモン	検体	4	円	円	
		トランス-1,2-ジクロロエチレン	検体	4	円	円	
		1,2-ジクロロプロパン	検体	4	円	円	
		パラ-ジクロロベンゼン	検体	4	円	円	
		イソキサチオン	検体	4	円	円	
		ダイアジノン	検体	4	円	円	
		フェニトロチオン(MEP)	検体	4	円	円	
		イソプロチオラン	検体	4	円	円	
		オキシシン銅	検体	4	円	円	
		クロロタロニル(TPN)	検体	4	円	円	
		プロピザミド	検体	4	円	円	

単 価 表 第 8 表

		分 析 費					
名 称	細別	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
② 公共用水域水質(要監視項目)測定調査(続き)							
		ジクロロボス(DDVP)	検体	4	円	円	
		フェノブカルブ(BPMC)	検体	4	円	円	
		イプロベンホス(IBP)	検体	4	円	円	
		クロルニトロフェン(CNP)	検体	4	円	円	
		トルエン	検体	4	円	円	
		キシレン	検体	4	円	円	
		クロロホルム	検体	4	円	円	
		塩化ビニルモノマー	検体	4	円	円	
		エピクロロヒドリン	検体	4	円	円	
		全マンガン	検体	4	円	円	
		ウラン	検体	4	円	円	
		ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸 (PF0A)	検体	4	円	円	
		フェノール	検体	4	円	円	
		ホルムアルデヒド	検体	4	円	円	

単 価 表 第 9 表

		分 析 費					
名 称	細別	規格寸法	単位	数量	単価	金額	摘要
② 公共用水域水質(要監視項目)測定調査(続き)							
		4-t-オクチルフェノール	検体	4	円	円	
		アニリン	検体	4	円	円	
		2,4-ジクロロフェノール	検体	4	円	円	
		合計				円	

松戸市公共用水域水質測定調査及び補足調査委託仕様書

委託者（甲）が受託者（乙）に委託する内容は以下のとおりである。

1. 事業名称

松戸市公共用水域水質測定調査及び補足調査委託

2. 事業目的

市内公共用水域の水質の汚濁状況を把握する。

3. 事業概要

水質汚濁防止法（昭和 45 年法律第 138 号）の規定による公共用水域の常時監視及び環境基準への影響等を補完するため、水質測定調査を実施する。

4. 事業期間

令和 8 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

5. 調査地点(別添、調査地点図参照)

(1) 公共用水域水質測定調査(5 地点)

No.	河川名	測定地点名	測 定 地 点 の 位 置	
1	坂川	弁天橋	左岸	松戸市古ヶ崎 941 番地先
			右岸	松戸市古ヶ崎 951 番地先
2	派川坂川	赤塚樋門	左岸	松戸市松戸 1800 番地先
			右岸	松戸市松戸 2109 番地先
3	新坂川	さかね橋	左岸	松戸市根本 143 番地先
			右岸	松戸市根本 145 番地先
4	国分川	秋山弁天橋	左岸	松戸市秋山 629 番地先
			右岸	松戸市大橋 199 番地先
5	六間川	古ヶ崎 排水機場	左岸	松戸市古ヶ崎 2373 番地先
			右岸	松戸市古ヶ崎 2390 番地先

(2) 公共用水域水質(要監視項目)測定調査(4 地点)

No.	河川名等	測定地点名	No.	河川名等	測定地点名
1	坂川	弁天橋	2	派川坂川	赤塚樋門
3	新坂川	さかね橋	4	国分川	秋山弁天橋

(3) 公共用水域補足水質測定調査(19 地点)

ア 坂川水系(12 地点)

No.	河川名等	測定地点名
1	坂川	根本橋
2	坂川	狐橋
3	新坂川	二ツ木排水合流後
4	樋古根川	樋野口橋
5	上富士川	上富士川流末
6	平賀川	平賀川流末
7	六間川	横六間橋
8	神明堀	神明堀下流
9	東堀	東堀流末
10	六間川	六間・坂川分岐
11	長津川	長津川流末
12	神田川	神田川流末

イ 国分川水系(6 地点)

No.	河川名等	測定地点名
1	松飛台排水路	松飛台排水路流末
2	常盤平排水路	常盤平排水路流末
3	紙敷川	紙敷川流末(音色橋)
4	稔台排水路	稔台排水路流末
5	春木川	つるぎ橋
6	国分川	獅子舞橋

ウ 大津川水系(1 地点)

No.	河川名等	測定地点名
1	上大津川	上大津川上流(クリーンセンター横)

6. 調査項目

(1) 公共用水域水質測定調査

ア 現場観測項目は下記の 9 項目とする。

No.	項目	No.	項目	No.	項目
1	天候	2	気温	3	水温
4	色相	5	臭気	6	水深
7	流量	8	透視度	9	平均流速

イ 生活環境項目は下記の 12 項目とする。

No.	項目	No.	項目
1	水素イオン濃度(pH)	2	溶存酸素量(DO)
3	生物化学的酸素要求量(BOD)	4	化学的酸素要求量(COD)
5	浮遊物質(SS)	6	大腸菌数
7	n-ヘキサン抽出物質	8	全窒素
9	全リン	10	全亜鉛(水生生物項目)
11	ノニルフェノール (水生生物項目)	12	直鎖アルキルベンゼンスルホン 酸及びその塩(LAS) (水生生物項目)

※古ヶ崎排水機場の測定については、pH、DO、BOD、COD、SS、大腸菌数、全窒素及び全リンの 8 項目とする。

ウ 健康項目は下記の 27 項目とする。(古ヶ崎排水機場を除く)

No.	項目	No.	項目
1	カドミウム	2	全シアン
3	鉛	4	六価クロム
5	砒素	6	総水銀
7	ポリ塩化ビフェニル(PCB)	8	ジクロロメタン
9	四塩化炭素	10	1,2-ジクロロエタン
11	1,1-ジクロロエチレン	12	シス-1,2-ジクロロエチレン
13	1,1,1-トリクロロエタン	14	1,1,2-トリクロロエタン
15	トリクロロエチレン	16	テトラクロロエチレン
17	1,3-ジクロロプロペン	18	チウラム
19	シマジン	20	チオベンカルブ
21	ベンゼン	22	セレン
23	硝酸性窒素	24	亜硝酸性窒素
25	ふっ素	26	ほう素
27	1,4-ジオキサン		

※ただし、総水銀が検出された場合は、直ちに甲に報告するとともにアルキル水銀についても測定を行うこと。

エ 特殊項目は下記の 5 項目とする。(古ヶ崎排水機場を除く)

No.	項目	No.	項目	No.	項目
1	フェノール類	2	銅	3	溶解性鉄
4	溶解性マンガン	5	クロム		

オ その他の項目は下記の 6 項目とする。(古ヶ崎排水機場を除く)

No.	項目	No.	項目
1	アンモニア性窒素	2	リン酸性リン
3	塩化物イオン	4	電気伝導率
5	全有機炭素(TOC)	6	陰イオン界面活性剤(MBAS)

(2) 公共用水域水質(要監視項目)測定調査

要監視項目は下記の 32 項目とする。

No.	項目	No.	項目
1	EPN(有機リン)	2	フタル酸ジエチルヘキシル
3	ニッケル	4	モリブデン
5	アンチモン	6	トランス-1,2-ジクロロエチレン
7	1,2-ジクロロプロパン	8	パラ-ジクロロベンゼン
9	イソキサチオン	10	ダイアジノン
11	フェニトロチオン(MEP)	12	イソプロチオラン
13	オキシ銅	14	クロロタロニル(TPN)
15	プロピザミド	16	ジクロルボス(DDVP)
17	フェノブカルブ(BPMC)	18	イプロベンホス(IBP)
19	クロロニトロフェン(CNP)	20	トルエン
21	キシレン	22	クロロホルム (健康及び水生生物項目)
23	塩化ビニルモノマー	24	エピクロロヒドリン
25	全マンガン	26	ウラン
27	ペルフルオロオクタンスルホン酸(PFOS)及びペルフルオロオクタン酸(PFOA)	28	フェノール(水生生物項目)
29	ホルムアルデヒド (水生生物項目)	30	4-tert-オクチルフェノール (水生生物項目)
31	アニリン(水生生物項目)	32	2,4-ジクロロフェノール (水生生物項目)

(3) 公共用水域補足水質測定調査

ア 現場観測項目は下記の 9 項目とする。

No.	項目	No.	項目	No.	項目
1	天候	2	気温	3	水温
4	色相	5	臭気	6	水深
7	流量	8	透視度	9	平均流速

イ 生活環境項目は下記の 6 項目とする。

No.	項目	No.	項目
1	水素イオン濃度(pH)	2	溶存酸素量(DO)
3	生物化学的酸素要求量(BOD)	4	浮遊物質(SS)
5	全窒素	6	全リン

※ただし、全窒素及び全リンについては上大津川上流(クリーンセンター横)のみ実施する。

7. 調査頻度

(1) 公共用水域水質測定調査

ア 通年測定として月 1 回測定する。

イ 現場観測項目は、採水時に全項目を測定するものとする。

ウ 各調査地点の項目別調査頻度は、別表 1(No. 1～5)のとおりとする。

(2) 公共用水域水質(要監視項目)測定調査

原則 8 月に実施する。ただし、クロルニトロフェンは 5 月に実施するものとする。

(3) 公共用水域補足水質測定調査

ア 通年測定としての 13 地点については月 1 回調査し、6 地点については、5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月に実施するものとする。

イ 現場観測項目は、採水時に全項目を測定するものとする。

ウ 各調査地点の項目別調査頻度は、別表 2 のとおりとする。

8. 採水時期

(1) 公共用水域水質測定調査

採水日は甲の指定する日とする。採水は、原則として全地点同日実施とし、採水日前になるべく晴天が続く水質の状態が安定している日を選び、各地点とも 9 時から 12 時までの間の採水を基本とする。

(2) 公共用水域水質(要監視項目)測定調査

採水日は甲の指定する日とする。原則として、公共用水域水質測定調査と同一日に実施するものとする。

(3) 公共用水域補足水質測定調査

採水日は甲の指定する日とする。採水は、採水日前なるべく晴天が続き水質の状態が安定している日を選んで実施するものとする。原則として公共用水域水質測定調査と同一日に実施するものとする。ただし、諸事情により不可能な場合はこの限りではない。

9. 採水方法

(1) 公共用水域水質測定調査及び公共用水域補足水質測定調査

原則として、流心部、表面から2割の位置で採取し、水深が非常に浅い場合(0.3m以下)は水深の2分の1で採取するものとする。

(2) 公共用水域水質(要監視項目)測定調査

原則として、公共用水域水質測定調査に準ずる。

10. 測定方法

「水質調査方法(昭和46年9月30日環水管30号)」、「水質汚濁に係る環境基準について(昭和46年12月28日環境庁告示第59号)」、「日本産業規格K0102(工場排水試験方法)」に準じて、下記によることとする。

(1) 公共用水域水質測定調査及び公共用水域補足水質測定調査

測定方法は、「水質汚濁に係る環境基準について(昭和46年12月28日環境庁告示第59号)」に定める項目については、これに掲げられている測定方法によるものとし、その他の項目については、日本産業規格「工場排水試験方法」(JIS・K0102)及び「用水・排水中の揮発性有機化合物試験方法」(JIS・K0125)に掲げる方法等によることとし、原則として別表3のとおりとする。

(2) 公共用水域水質(要監視項目)測定調査

測定方法は、原則として別表3のとおりとする。

11. 数値の取扱い

(1) 報告下限値等については別添参考資料のとおりとする。また、測定値の有効数字、平均値の計算及びその他数値の取扱いについては、「環境基本法に基づく環境基準の水域類型の指定及び水質汚濁防止法に基づく常時監視等の処理基準について(平成13年5月31日環水企第92号環境省環境管理局水環境部長)」に準じることとする。

(2) 「硝酸性窒素」及び「亜硝酸性窒素」は、それぞれ単独の値を報告するとともに、2物質の濃度の和を求め「硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素」の値も報告すること。

- (3) 「ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) 及びペルフルオロオクタン酸 (PFOA)」については PFOS 及び PFOA の合算値に加え、PFOS、PFOS(直鎖体)、PFOA、PFOA(直鎖体)についても報告すること。

12. 結果報告

- (1) 報告書の様式(電子媒体を含む。)は、甲の指示に従うものとする。
- (2) 報告書は毎月分提出すること。
- (3) 報告書は採水日より 30 日以内に 2 部提出するものとする。報告書には各物質の計量証明書、測定結果一覧表、採水時の現場写真、河川断面図を添付すること。また、8 月のみ本業務における河川の風景写真を撮影し提出すること(電子媒体を含む。)。なお、撮影地点は 5. (1)に記載の 5 地点の上流及び下流とする。
- (4) 契約期間中に報告書の様式等に変更があった場合は甲から乙に渡すこととし、速やかに対応すること。
- (5) 本業務に係るデータ集計等は監督職員の指示に従い行うものとする。
- (6) 年間業務終了後には、年間報告書を提出すること。

13. 測定操作の記録

- (1) 次の情報を記録し、整理、保管する。
 - ア 測定装置の校正及び操作の記録
 - イ 前処理から測定までの操作の記録
 - ウ 測定値を得るまでの各種の数値
- (2) 甲から操作記録の提出を求められた場合は、甲に提出するものとする。

14. 業務実施計画書

乙は、事業概要、組織体制図(組織体制、緊急連絡体制等)、水質測定方法及び採水地点一覧表について記載した業務実施計画書を、契約締結後速やかに作成し、甲に提出すること。

15. 業務に係る経費

乙は、業務遂行のために必要な一切の経費を負担するものとする。

16. その他

- (1) 分析試料は、前処理後に汚染のないクリーンな冷蔵庫、冷凍庫等の冷暗所に保管し、残存試料についても結果報告後、2 か月は保管すること。
- (2) 本委託業務に関するデータについては、本委託業務終了後 1 年間保存すること。
- (3) 監督職員が準備する本業務に係るデータ集計等を行い提出すること。

- (4) 上記のうち、国の定める告示等が改正された場合は原則として改正後に従うが、甲と乙で協議の上決定する。
- (5) 試料採取に伴う車両の駐車等については、有料駐車場の利用をするなど関係法令を十分に遵守し、住民とのトラブルがないよう万全を期して業務を行うこと。
- (6) 試料採取時は、安全衛生面に十分に注意し、法令を遵守し作業を行うこと。
- (7) 本事業において乙の責により採取の途中停止、精度管理外の分析結果の出現等調査に異常が出た場合、再度その回の調査を乙が行わなければならない。
- (8) 業務に伴い、作業場所の器物破損、人身事故、作業場所付近の汚染等を乙の作業により生じさせた場合は乙が一切の責を負い、この処理を行う。
- (9) 必要に応じて、甲は乙の事務所・施設等に立入調査を行うことができる。
- (10) 事業を実施するにあたり、法令等を厳守すること。
- (11) 本事業を実施する際に(もしくは実施したのちに)知り得た情報等はその一切を漏洩させてはならない。
- (12) その他、本仕様書に定めのない疑義が生じた場合は、甲と乙で協議し決定する。

公共用水域水質測定調査頻度表(項目別)

別表1

調査地点：坂川・弁天橋

No.1

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ア. 生活環境項目													
水素イオン濃度(pH)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
溶存酸素量(DO)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
生物化学的酸素要求量(BOD)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
化学的酸素要求量(COD)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
浮遊物質(SS)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
大腸菌数	○		○		○		○		○		○		6
n-ヘキサン抽出物質		○		○		○		○		○		○	6
全窒素	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
全リン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
全亜鉛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
ノニルフェノール		○		○		○		○		○		○	6
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)	○			○			○			○			4
イ. 健康項目													
カドミウム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
全シアン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
鉛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
六価クロム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
砒素	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
総水銀	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
ポリ塩化ビフェニル(PCB)							○						1
ジクロロメタン	○			○			○			○			4
四塩化炭素	○			○			○			○			4
1,2-ジクロロエタン	○			○			○			○			4
1,1-ジクロロエチレン	○			○			○			○			4
シス-1,2-ジクロロエチレン	○			○			○			○			4
1,1,1-トリクロロエタン	○			○			○			○			4
1,1,2-トリクロロエタン	○			○			○			○			4
トリクロロエチレン	○			○			○			○			4
テトラクロロエチレン	○			○			○			○			4
1,3-ジクロロプロペン	○			○			○			○			4
チウラム	○			○			○			○			4
シマジン	○			○			○			○			4
チオベンカルブ	○			○			○			○			4
ベンゼン	○			○			○			○			4
セレン	○			○			○			○			4
硝酸性窒素	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
亜硝酸性窒素	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
ふっ素	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
ほう素	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
1,4-ジオキサン	○			○			○			○			4
ウ. 特殊項目													
フェノール類		○		○		○		○		○		○	6
銅		○		○		○		○		○		○	6
溶解性鉄		○		○		○		○		○		○	6
溶解性マンガン		○		○		○		○		○		○	6
クロム		○		○		○		○		○		○	6
エ. その他の項目													
アンモニア性窒素	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
リン酸性リン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
塩化物イオン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
電気伝導率	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
全有機炭素(TOC)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
陰イオン界面活性剤(MBAS)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
計	42	31	25	48	25	31	43	31	25	48	25	31	405

公共用水域水質測定調査頻度表(項目別)

別表1

調査地点：派川坂川・赤坂樋門

No.2

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ア. 生活環境項目													
水素イオン濃度(pH)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
溶存酸素量(DO)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
生物化学的酸素要求量(BOD)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
化学的酸素要求量(COD)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
浮遊物質(SS)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
大腸菌数	○		○		○		○		○		○		6
n-ヘキサン抽出物質		○		○		○		○		○		○	6
全窒素	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
全リン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
全亜鉛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
ノニルフェノール				○									1
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)				○									1
イ. 健康項目													
カドミウム	○		○		○		○		○		○		6
全シアン	○		○		○		○		○		○		6
鉛	○		○		○		○		○		○		6
六価クロム	○		○		○		○		○		○		6
砒素	○		○		○		○		○		○		6
総水銀	○		○		○		○		○		○		6
ポリ塩化ビフェニル(PCB)							○						1
ジクロロメタン	○			○			○			○			4
四塩化炭素	○			○			○			○			4
1,2-ジクロロエタン	○			○			○			○			4
1,1-ジクロロエチレン	○			○			○			○			4
シス-1,2-ジクロロエチレン	○			○			○			○			4
1,1,1-トリクロロエタン	○			○			○			○			4
1,1,2-トリクロロエタン	○			○			○			○			4
トリクロロエチレン	○			○			○			○			4
テトラクロロエチレン	○			○			○			○			4
1,3-ジクロロプロペン	○			○			○			○			4
チウラム	○			○			○			○			4
シマジン	○			○			○			○			4
チオベンカルブ	○			○			○			○			4
ベンゼン	○			○			○			○			4
セレン	○			○			○			○			4
硝酸性窒素	○		○		○		○		○		○		6
亜硝酸性窒素	○		○		○		○		○		○		6
ふっ素	○		○		○		○		○		○		6
ほう素	○		○		○		○		○		○		6
1,4-ジオキサン	○			○			○			○			4
ウ. 特殊項目													
フェノール類	○			○			○			○			4
銅	○			○			○			○			4
溶解性鉄	○			○			○			○			4
溶解性マンガン	○			○			○			○			4
クロム	○			○			○			○			4
エ. その他の項目													
アンモニア性窒素	○		○		○		○		○		○		6
リン酸性リン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
塩化物イオン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
電気伝導率	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
全有機炭素(TOC)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
陰イオン界面活性剤(MBAS)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
計	46	14	25	37	25	14	47	14	25	35	25	14	321

公共用水域水質測定調査頻度表(項目別)

別表1

調査地点：新坂川・さかね橋

No.3

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ア.生活環境項目													
水素イオン濃度(pH)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
溶存酸素量(DO)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
生物化学的酸素要求量(BOD)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
化学的酸素要求量(COD)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
浮遊物質(SS)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
大腸菌数	○		○		○		○		○		○		6
n-ヘキサン抽出物質		○		○		○		○		○		○	6
全窒素	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
全リン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
全亜鉛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
ノニルフェノール		○		○		○		○		○		○	6
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)	○			○			○			○			4
イ.健康項目													
カドミウム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
全シアン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
鉛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
六価クロム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
砒素	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
総水銀	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
ポリ塩化ビフェニル(PCB)							○						1
ジクロロメタン	○			○			○			○			4
四塩化炭素	○			○			○			○			4
1,2-ジクロロエタン	○			○			○			○			4
1,1-ジクロロエチレン	○			○			○			○			4
シス-1,2-ジクロロエチレン	○			○			○			○			4
1,1,1-トリクロロエタン	○			○			○			○			4
1,1,2-トリクロロエタン	○			○			○			○			4
トリクロロエチレン	○			○			○			○			4
テトラクロロエチレン	○			○			○			○			4
1,3-ジクロロプロペン	○			○			○			○			4
チウラム	○			○			○			○			4
シマジン	○			○			○			○			4
チオベンカルブ	○			○			○			○			4
ベンゼン	○			○			○			○			4
セレン	○			○			○			○			4
硝酸性窒素	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
亜硝酸性窒素	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
ふっ素	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
ほう素	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
1,4-ジオキサン	○			○			○			○			4
ウ.特殊項目													
フェノール類		○		○		○		○		○		○	6
銅		○		○		○		○		○		○	6
溶解性鉄		○		○		○		○		○		○	6
溶解性マンガン		○		○		○		○		○		○	6
クロム		○		○		○		○		○		○	6
エ.その他の項目													
アンモニア性窒素	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
リン酸性リン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
塩化物イオン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
電気伝導率	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
全有機炭素(TOC)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
陰イオン界面活性剤(MBAS)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
計	42	31	25	48	25	31	43	31	25	48	25	31	405

公共用水域水質測定調査頻度表(項目別)

別表1

調査地点：国分川・秋山弁天橋

No.4

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ア. 生活環境項目													
水素イオン濃度(pH)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
溶存酸素量(DO)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
生物化学的酸素要求量(BOD)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
化学的酸素要求量(COD)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
浮遊物質(SS)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
大腸菌数	○		○		○		○		○		○		6
n-ヘキサン抽出物質		○		○		○		○		○		○	6
全窒素	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
全リン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
全亜鉛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
ノニルフェノール				○									1
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)				○									1
イ. 健康項目													
カドミウム	○		○		○		○		○		○		6
全シアン	○		○		○		○		○		○		6
鉛	○		○		○		○		○		○		6
六価クロム	○		○		○		○		○		○		6
砒素	○		○		○		○		○		○		6
総水銀	○		○		○		○		○		○		6
ポリ塩化ビフェニル(PCB)							○						1
ジクロロメタン	○			○			○			○			4
四塩化炭素	○			○			○			○			4
1,2-ジクロロエタン	○			○			○			○			4
1,1-ジクロロエチレン	○			○			○			○			4
シス-1,2-ジクロロエチレン	○			○			○			○			4
1,1,1-トリクロロエタン	○			○			○			○			4
1,1,2-トリクロロエタン	○			○			○			○			4
トリクロロエチレン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
テトラクロロエチレン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
1,3-ジクロロプロペン	○			○			○			○			4
チウラム	○			○			○			○			4
シマジン	○			○			○			○			4
チオベンカルブ	○			○			○			○			4
ベンゼン	○			○			○			○			4
セレン	○			○			○			○			4
硝酸性窒素	○		○		○		○		○		○		6
亜硝酸性窒素	○		○		○		○		○		○		6
ふっ素	○		○		○		○		○		○		6
ほう素	○		○		○		○		○		○		6
1,4-ジオキサン	○			○			○			○			4
ウ. 特殊項目													
フェノール類	○			○			○			○			4
銅	○			○			○			○			4
溶解性鉄	○			○			○			○			4
溶解性マンガ	○			○			○			○			4
クロム	○			○			○			○			4
エ. その他の項目													
アンモニア性窒素	○		○		○		○		○		○		6
リン酸性リン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
塩化物イオン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
電気伝導率	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
全有機炭素(TOC)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
陰イオン界面活性剤(MBAS)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
計	46	16	27	37	27	16	47	16	27	35	27	16	337

別表1

調査地点：六間川・古ヶ崎排水機場

No.5

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ア.生活環境項目													
水素イオン濃度(pH)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
溶存酸素量(DO)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
生物化学的酸素要求量(BOD)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
化学的酸素要求量(COD)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
浮遊物質(SS)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
大腸菌数	○		○		○		○		○		○		6
n-ヘキサン抽出物質													
全窒素	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
全リン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12
全亜鉛													
ノニルフェノール													
直鎖アルカール系脂肪酸及びその塩(LAS)													
イ.健康項目													
カドミウム													
全シアン													
鉛													
六価クロム													
砒素													
総水銀													
ポリ塩化ビフェニル(PCB)													
ジクロロメタン													
四塩化炭素													
1,2-ジクロロエタン													
1,1-ジクロロエチレン													
シス-1,2-ジクロロエチレン													
1,1,1-トリクロロエタン													
1,1,2-トリクロロエタン													
トリクロロエチレン													
テトラクロロエチレン													
1,3-ジクロロプロペン													
チウラム													
シマジン													
チオベンカルブ													
ベンゼン													
セレン													
硝酸性窒素													
亜硝酸性窒素													
ふっ素													
ほう素													
1,4-ジオキサン													
ウ.特殊項目													
フェノール類													
銅													
溶解性鉄													
溶解性マンガン													
クロム													
エ.その他の項目													
アンモニア性窒素													
リン酸性リン													
塩化物イオン													
電気伝導率													
全有機炭素(TOC)													
陰イオン界面活性剤(MBAS)													
計	8	7	8	7	8	7	8	7	8	7	8	7	90

公共用水域補足水質測定調査頻度表

別表2

No.1

No.	水域名等	測定地点名	頻度
1	坂川	根本橋	◎
2	坂川	狐橋	◎
3	新坂川	二ツ木排水合流後	◎
4	樋古根川	樋野口橋	◎
5	上富士川	上富士川流末	○
6	平賀川	平賀川流末	○
7	六間川	横六間橋	○
8	神明堀	神明堀下流	○
9	東堀	東堀流末	◎
10	六間川	六間・坂川分岐	◎
11	長津川	長津川流末	○
12	神田川	神田川流末	○
13	松飛台排水路	松飛台排水路流末	◎
14	常盤平排水路	常盤平排水路流末	◎
15	紙敷川	音色橋	◎
16	稔台排水路	稔台排水路流末	◎
17	春木川	つるぎ橋	◎
18	国分川	獅子舞橋	◎
19	上大津川	上大津川上流(クリーンセンター横)	◎
<p>【頻度】 ◎ ： 毎月1回測定(年12回測定)</p> <p>○ ： 奇数月に測定(年6回測定)</p>			

別表2

月・地点別

[illegible]

月・項目別

[illegible]

水 質 測 定 方 法

別表3

項 目	方 法
水素イオン濃度(pH)	JIS K0102-1 12に定める方法又はガラス電極を用いる水質自動監視測定装置によりこれと同程度の計測結果の得られる方法
溶存酸素量(DO)	JIS K 0102-1 21.2、21.3、21.4及び21.5に定める方法又は隔膜電極若しくは光学式センサを用いる水質自動監視測定装置によりこれと同程度の計測結果の得られる方法
生物化学的酸素要求量(BOD)	JIS K0102-1 18に定める方法
化学的酸素要求量(COD)	JIS K0102-1 17.2に定める方法
浮遊物質質量(SS)	昭和46年環境庁告示第59号付表8に掲げる方法(注1)
大腸菌数	JIS K0102-5 5.6.2(JIS K0102-5 5.6.2.7は除く)に定める方法(ただし、試料採取後直ちに試験ができないときは、0～5℃(凍結させない)の暗所に保存し、9時間以内に試験することが望ましく、12時間以内に試験する。)
n-ヘキサン抽出物質	JIS K0102-1 22.5に定める方法
全窒素	JIS K0102-2 17.3、17.4又は17.5(JIS K0102-2 17.5.3.2を除く。)に定める方法 *JIS K0102-2 17.4又は17.5(JIS K0102-2 17.5.3.2を除く。)に定める方法
全リン	JIS K0102-2 18.4(JIS K0102-2 18.4.1.4のbを除く。)に定める方法
全亜鉛	JIS K0102-3 12.2、12.3、12.4及び12.5に定める方法
ノニルフェノール	昭和46年環境庁告示第59号付表9に掲げる方法
直鎖7族脂肪酸及びその塩(LAS)	JIS K0102-4 6.2.5に掲げる方法
カドミウム	JIS K0102-3 14.3、14.4又は14.5に定める方法
全シアン	JIS K0102-2 9.3.2若しくは9.3.3の蒸留操作を行い、9.4、9.5若しくは9.6(ただし、蒸留操作は装置にて行わない)の分析を行う方法又は昭和46年環境庁告示第59号付表1(蒸留操作は装置にて行う。)に掲げる方法
鉛	JIS K0102-3 13.2、13.3、13.4又は13.5に定める方法
六価クロム	JIS K0102-3 24.3(JIS K0102-3 24.3.3及び24.3.7を除く。)に定める方法(ただし、次の1及び2に掲げる場合にあっては、それぞれ1及び2に定めるところによる。) 1 JIS K0102-3 24.3.4、24.3.5又は24.3.6に定める方法による場合(JIS K0102-3 24.3.3.4のb)による場合に限る。)試料に、その濃度が基準値相当分(0.02mg/L)増加するように六価クロム標準液を添加して添加回収率を求め、その値が70～120%であることを確認すること。 2 JIS K0102-3 24.3.2に定める方法により汽水又は海水を測定する場合1に定めるところによるほか、JIS K0170-7の7(a)又はb)に定める操作を行うこと。
砒素	JIS K0102-3 20.3、20.4又は20.5に定める方法
総水銀	昭和46年環境庁告示第59号付表2に掲げる方法
アルキル水銀	昭和46年環境庁告示第59号付表3に掲げる方法
ポリ塩化ビフェニル	昭和46年環境庁告示第59号付表4に掲げる方法
ジクロロメタン	JIS K0125 5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
四塩化炭素	JIS K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1,2-ジクロロエタン	JIS K0125 5.1、5.2、5.3.1又は5.3.2に定める方法
1,1-ジクロロエチレン	JIS K0125 5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
シス-1,2-ジクロロエチレン	JIS K0125 5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
1,1,1-トリクロロエタン	JIS K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1,1,2-トリクロロエタン	JIS K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
トリクロロエチレン	JIS K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
テトラクロロエチレン	JIS K0125 5.1、5.2、5.3.1、5.4.1又は5.5に定める方法
1,3-ジクロロプロペン	JIS K0125 5.1、5.2又は5.3.1に定める方法
チウラム	昭和46年環境庁告示第59号付表5に掲げる方法
シマジン	昭和46年環境庁告示第59号付表6の第1又は第2に掲げる方法
チオベンカルブ	昭和46年環境庁告示第59号付表6の第1又は第2に掲げる方法
ベンゼン	JIS K0125 5.1、5.2又は5.3.2に定める方法
セレン	JIS K0102-3 26.2、26.3又は26.4に定める方法
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	硝酸性窒素：JIS K0102-2 15.3、15.4、15.6、15.7又は15.8に定める方法 亜硝酸性窒素：JIS K0102-2 14.2、14.3又は14.4に定める方法
ふっ素	JIS K0102-2 5.2及び5.3、5.2及び5.4(妨害となる物質としてハロゲン化合物又はハロゲン化水素が多量に含まれる試料を測定する場合にあっては、蒸留試薬溶液として、水約200mLに硫酸10mL、りん酸60mL及び塩化ナトリウム10gを溶かした溶液とグリセリン250mLを混合し、水を加えて1,000mLとしたものを用い、JIS K0170-6の6図2注記のアルミニウム溶液のラインを追加する。)又は5.2(蒸留操作を行う場合にあっては、フェノールフタレイン溶液を加えず、pH試験紙によって液性を判別する。懸濁物質及びイオンクロマトグラフ法で妨害となる物質が共存しないことを確認した場合にあっては、蒸留操作を省略することができる。)及び5.5に定める方法
ほう素	JIS K0102-3 5.2、5.5又は5.6に定める方法
1,4-ジオキサン	昭和46年環境庁告示第59号付表7に掲げる方法
フェノール類	JIS K0102-4 5.2(JIS K0102-4 5.2.2.3を除く)に定める方法
銅	JIS K0102-3 11.3、11.4、11.5又は11.6に定める方法
溶解性鉄	ろ紙5種Cでろ過後、ろ液をJIS K0102-3 16.3、16.4又は16.5に定める方法で測定
溶解性マンガ	ろ紙5種Cでろ過後、ろ液をJIS K0102-3 15.2、15.3、15.4又は15.5に定める方法で測定
クロム	JIS K0102-3 24.2に定める方法
アンモニア性窒素	JIS K0102-2 13.3、13.4、13.5、13.6又は13.7に定める方法(ただし、13.4、13.5、13.6に定める方法により測定する場合において、蒸留操作を行うときは、JIS K0102-2 13.2.2又は13.2.4に規定する方法とする。)により検定されたアンモニウムイオンの濃度に換算係数0.7766を乗じてアンモニア性窒素の量を検出する方法
リン酸性リン	JIS K0102-2 18.2に定める方法
塩化物イオン	衛生試験法注解(2020)(飲料水)24.2又はJIS K0102 35に掲げる方法
電気伝導率	JIS K0102-1 13に定める方法
全有機炭素(TOC)	JIS K0102-1 19に定める方法
陰イオン界面活性剤(MBAS)	JIS K0102-4 6.2.1又は6.2.2に定める方法
要監視項目(健康項目)	平成5年環境庁通知に掲げる方法、平成11年環境庁通知に掲げる方法、平成16年環境省通知に掲げる方法、令和2年環境省通知に掲げる方法及び令和7年環境省通知に掲げる方法(注2)
要監視項目(水生生物項目)	平成15年環境省通知に掲げる方法、平成25年環境省通知に掲げる方法及び令和7年環境省通知に掲げる方法(注3)

注1 昭和46年環境庁告示第59号とは「水質汚濁に係る環境基準について」(昭和46年12月28日環境庁告示第59号)をいう。

注2 平成5年環境庁通知とは「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準の測定方法及び要監視項目の測定方法について」(平成5年4月28日環水規第121号)、平成11年環境庁通知とは「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準の測定方法及び要監視項目の測定方法について」(平成11年3月12日環水企第89号、環水管第69号、環水規第79号)、平成16年環境省通知とは「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の施行等について」(平成16年3月31日環水企発第040331003号、環水土発第040331005号)、令和2年環境省通知とは「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準等の施行等について」(令和2年5月28日環水大発第2005281号・環水大上発第2005282号)、令和7年環境省通知とは、「「水質汚濁に係る環境基準についての一部を改正する件」等の施行頭について」(令和7年4月1日環水大管発第2504015号)をいう。

注3 平成15年環境省通知とは「水質汚濁に係る環境基準についての一部を改正する件の施行等について」(平成15年11月5日環水企発第031105001号、環水管発第031105001号)をいう。平成25年環境省通知とは平成25年3月27日環境省水・大気環境局長通知「水質汚濁に係る環境基準についての一部を改正する件の施行等について」(平成25年3月27日環水大発第1303272号)、令和7年環境省通知とは、「「水質汚濁に係る環境基準についての一部を改正する件」等の施行頭について」(令和7年4月1日環水大管発第2504015号)をいう。

報告下限値について

参考資料1

項目	最大有効桁数	報告下限値	項目	最大有効桁数	報告下限値
ア. 生活環境項目			エ. その他項目		
水素イオン濃度(pH)	3		アンモニア性窒素 (mg/l)	3	0.03
溶存酸素量(DO) (mg/l)	3	0.5	リン酸性リン (mg/l)	3	0.003
生物化学的酸素要求量(BOD) (mg/l)	2	0.5	塩化物イオン (mg/l)	3	5
科学的酸素要求量(COD) (mg/l)	2	0.5	電気伝導率 (mS/m)	3	1
浮遊物質(SS) (mg/l)	2	1	全有機炭素(TOC) (mg/l)	2	0.5
大腸菌数 (CFU/100ml)	2	1.0E+00	陰イオン界面活性剤(MBAS) (mg/l)	3	0.05
n-ヘキサン抽出物質 (mg/l)	2	0.5	オ. 要監視項目		
全窒素 (mg/l)	2	0.05	EPN(有機リン) (mg/l)	2	0.0006
全リン (mg/l)	2	0.003	フタル酸ジエチルヘキシル (mg/l)	2	0.006
全亜鉛 (mg/l)	2	0.001	ニッケル (mg/l)	2	0.001
ノニルフェノール (mg/l)	2	0.00006	モリブデン (mg/l)	2	0.007
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS) (mg/l)	2	0.0006	アンチモン (mg/l)	2	0.002
イ. 健康項目			トランス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	2	0.004
カドミウム (mg/l)	2	0.0003	1,2-ジクロロプロパン (mg/l)	2	0.006
全シアン (mg/l)	2	0.1	パラ-ジクロロベンゼン (mg/l)	2	0.02
鉛 (mg/l)	2	0.001	イソキサチオン (mg/l)	2	0.0008
六価クロム (mg/l)	2	0.005	ダイアジノン (mg/l)	2	0.0005
砒素 (mg/l)	2	0.001	フェニトロチオン(MEP) (mg/l)	2	0.0003
総水銀 (mg/l)	2	0.0005	イソプロチオラン (mg/l)	2	0.004
アルキル水銀 (mg/l)	2	0.0005	オキシ銅 (mg/l)	2	0.004
ポリ塩化ビフェニル (PCB) (mg/l)	2	0.0005	クロロタロニル(TPN) (mg/l)	2	0.005
ジクロロメタン (mg/l)	2	0.002	プロピザミド (mg/l)	2	0.0008
四塩化炭素 (mg/l)	2	0.0002	ジクロロボス(DDVP) (mg/l)	2	0.0008
1,2-ジクロロエタン (mg/l)	2	0.0004	フェノブカルブ(BPMC) (mg/l)	2	0.003
1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	2	0.01	イプロベンホス(IBP) (mg/l)	2	0.0008
シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	2	0.004	クロルニトロフェン(CNP) (mg/l)	2	0.0001
1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	2	0.1	トルエン (mg/l)	2	0.06
1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	2	0.0006	キシレン (mg/l)	2	0.04
トリクロロエチレン (mg/l)	2	0.001	クロロホルム (mg/l)	2	0.0006
テトラクロロエチレン (mg/l)	2	0.001	塩化ビニルモノマー (mg/l)	2	0.0002
1,3-ジクロロプロパン (mg/l)	2	0.0002	エピクロロヒドリン (mg/l)	2	0.00004
チウラム (mg/l)	2	0.0006	全マンガン (mg/l)	2	0.02
シマジン (mg/l)	2	0.0003	ウラン (mg/l)	2	0.0002
チオベンカルブ (mg/l)	2	0.002	P F O S 及び P F O A (mg/l)	2	0.0000003
ベンゼン (mg/l)	2	0.001	P F O S (mg/l)	2	0.0000001
セレン (mg/l)	2	0.001	P F O S (直鎖体) (mg/l)	2	0.0000001
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	2	0.06	P F O A (mg/l)	2	0.0000002
硝酸性窒素 (mg/l)	3	0.03	P F O A (直鎖体) (mg/l)	2	0.0000002
亜硝酸性窒素 (mg/l)	3	0.03	フェノール (mg/l)	2	0.001
ふっ素 (mg/l)	2	0.08	ホルムアルデヒド (mg/l)	2	0.1
ほう素 (mg/l)	2	0.1	4-tert-オクチルフェノール (mg/L)	2	0.00007
1,4-ジオキサン (mg/l)	2	0.005	アニリン (mg/L)	2	0.002
ウ. 特殊項目			2,4-ジクロロフェノール (mg/L)	2	0.0003
フェノール類 (mg/l)	2	0.005			
銅 (mg/l)	2	0.01			
溶解性鉄 (mg/l)	2	0.1			
溶解性マンガン (mg/l)	2	0.1			
クロム (mg/l)	2	0.02			

要監視項目調査頻度表

参考資料2

月・地点別

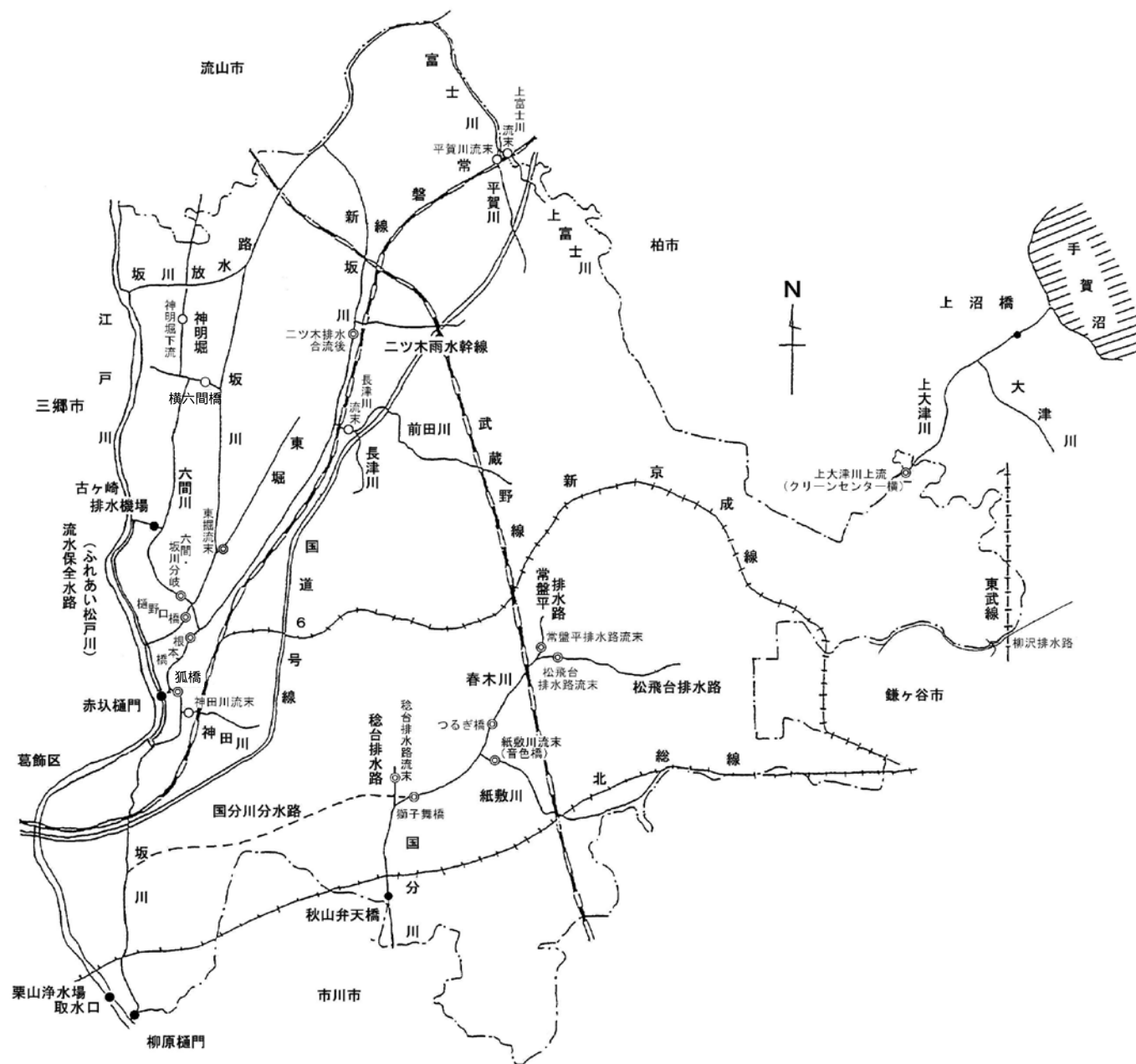
地 点	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
坂川（弁天橋）		※			○								2
派川坂川（赤塚樋門）		※			○								2
新坂川（さかね橋）		※			○								2
国分川（秋山弁天橋）		※			○								2
計		4			4								8

※5月採水はクロロニトロフェン（CNP）のみ

月・項目別

項 目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
EPN(有機リン)					4								4
フタル酸ジエチルヘキシル					4								4
ニッケル					4								4
モリブデン					4								4
アンチモン					4								4
トランス-1,2-ジクロロエチレン					4								4
1,2-ジクロロプロパン					4								4
パラ-ジクロロベンゼン					4								4
イソキサチオン					4								4
ダイアジノン					4								4
フェニトロチオン(MEP)					4								4
イソプロチオラン					4								4
オキシ銅					4								4
クロロタロニル(TPN)					4								4
プロピザミド					4								4
ジクロルボス(DDVP)					4								4
フェノブカルブ(BPMC)					4								4
イプロベンホス(IBP)					4								4
クロロニトロフェン(CNP)		4											4
トルエン					4								4
キシレン					4								4
クロロホルム					4								4
塩化ビニルモノマー					4								4
エピクロロヒドリン					4								4
全マンガン					4								4
ウラン					4								4
ペルフルオロオクタンスルホン酸 (PFOS) 及びペルフルオロオクタン 酸 (PFOA)					4								4
フェノール					4								4
ホルムアルデヒド					4								4
4-tert-オクチルフェノール					4								4
アニリン					4								4
2,4-ジクロロフェノール					4								4
計		4			124								128

調査地点図（公共用水域補足水質測定調査）



凡 例

◎	補足調査地点 (1回/1か月実施)
○	補足調査地点 (1回/2か月実施)